

第5回 RevMate 第三者評価委員会

[開催日時] 2011年3月2日(水) 18:00~21:30

[開催場所] 東京都内

[出席者: 委員] 9名

[出席者: オブザーバー] 2名

[欠席者: 委員] 1名

[議事]

1. RevMate 第三者評価委員会開会の挨拶

2. 前回の確認と今回の目的

- 事務局から前回の合意事項と今回の検討項目について説明があった。
 - 1) 患者向け調査票は、登録者の中で一定期間内にレブラミドが処方された患者数を割り出し、その数に一定割合を追加した調査票を薬剤部門へ送付し、薬剤部門を通じて患者に配布する。
 - 2) 薬剤部門へ事前に調査の概要、患者への調査票配布協力依頼、厚生労働省や日本病院薬剤師会からの協力依頼、薬剤部門調査票を送付する。その後日程をおき、患者向け調査票を送付する。
 - 3) 医師向けには、レブラミド発売後に処方経験のある医師を抽出し、厚生労働省の協力依頼とともに調査票を直接送付する。
 - 4) 今回は、調査スケジュール、薬剤部門長向け事前連絡関連書類、調査票同封挨拶状、患者向け調査票配布数連絡用紙、各対象者別送付用・返信用封筒、各対象者別問い合わせ先、各対象者別調査票の検討を行う。

3. 調査実施について

- 事務局から調査スケジュール、調査対象者への調査票配布数が提案された。
 - 1) 薬剤部門への事前の告知と薬剤部門調査票を送付し、同時に医師向け調査票も送付し、回収期限は3週間後とする。約1ヶ月後に患者調査票を薬剤部門に送付し、1ヶ月間で配布し、その1ヶ月後を回収期限とする。
 - 2) RevMate センターでは、登録データの整理を行い、配布数、配布施設を確定し、その後調査票、挨拶状などを印刷、梱包を行い発送する。
 - 3) 調査票配布数の算定方法として、患者は2011年1月1日から2011年2月28日までの間にレブラミドを処方された患者、医師は発売後2011年2月28日までの間にレブラミドを処方した経験のある医師、薬剤部門は発売後から2011年2月28日までの間にレブラミドを調剤した経験のある薬剤部門数を基準とする。
 - 4) 患者向け調査票の発送数は、登録者数1名の施設には3通、2名の施設には4通、3名の施設には6通、4名の施設には7通、5名以上7名以下の施設には10通、8名以上10名以下の施設には13通、11名以上の場合には患者数の20%分を追加して発

送する。配布数の概算は、患者が約3,500、医師が約1,300、薬剤部門が約700となる。

a) ゴールデンウィーク直前は薬剤部が繁忙な時期となるため、配布時期がその時期に重なる場合は協力を得にくくなる。5月上旬には骨髄腫の国際学会が開催されるため、主な施設ではその時期の処方が定常的でなくなる可能性がある。

b) 4月15日に薬剤部門への事前告知と薬剤部門調査票を発送し、同時に医師向け調査票も発送し、回収期限は3週間後とする。5月6日に患者調査票を薬剤部門に発送し、5月10日から6月10日の1ヶ月間で配布し、7月15日を回収期限とすることで出席者全員の合意が得られた。

- 5) 薬剤部門へ送付する依頼状（初回、2回目）について検討された。
- 6) 配布時記録用の配布確認用紙と配布数連絡用紙について検討された。
- 7) 医師向け挨拶状について検討され、調査票の記述が共通する個所については、他の対象宛に準じて修正することで、出席者の了承が得られた。
- 8) 患者向け挨拶状について検討された。
- 9) 調査に関する問合せ及びその記録について検討された。
- 10) 各対象への発送用封筒について検討された。
- 11) 各対象用の調査票について修正点が検討された。

4. 次回委員会の開催について

- 次回委員会は2011年7月20日(水)開催とすることで出席者全員の合意が得られた。

5. その他

- 委員長より、本調査に関して患者会での協力呼びかけが可能であれば、検討をお願いする旨が伝えられた。
- 委員より、本調査に関して日本病院薬剤師会ウェブサイトで薬剤師向けの協力依頼を掲載する予定である旨が伝えられた。

以上をもって、議事を終了し、議長は閉会を宣言した。